

## 12. 接続詞

### 1.

次の日本文に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(1) 私の兄も姉も、彼らの結婚式に出席できなかった。

( my / my / attend / sister / brother / neither / wedding / . / nor / their / could )

(2) 彼らだけでなくトムも会議にやって来た。

( only / also / meeting / but / has / the / not / . / to / Tom / they / come )

(3) 彼女ではなく彼女の母が私にこの本をくれた。

( but / this / her / . / gave / her / book / not / mother / me )

(4) 私は彼女を知らないし知りたいたとも思わない。

( her / nor / don't / do / want / I / I / , / know / to )

[解答]

- (1) Neither my brother nor my sister  
could attend their wedding.
- (2) Not only they but also Tom has come  
to the meeting.
- (3) Not her but her mother gave me this book.
- (4) I don't know her, nor do I want to.

Note

## 12. 接続詞

### 1. 等位接続詞

- (1) 私の兄も姉も、彼らの結婚式に出席できなかつた。

Neither my brother nor my sister

neither A nor B  
「AもBもどちらも～ない」

could attend their wedding.

「～出席する」

「結婚式」

and や but など接続詞の基本的なものは中学で習いますが、それ以外で重要なものに、まず等位接続詞では次の語句があります。

neither A nor B 「A も B も(両方とも)～でない」  
※主語になるときは動詞は B に合わせる。

She is neither rich nor famous.

(彼女は金持ちでもないし有名でもない。)

Neither she nor I am responsible for the failure.

(彼女も私もその失敗に対する責任はない。)

(1)の問題では「私の兄も姉も…なかった」ですので、Neither my brother nor my sister としましょう。

## Note

(2) 彼らだけでなくトムも会議にやって来た。

Not only they but also Tom

not only A but (also) B  
「A ばかりでなく B も」

has come to the meeting.

現在完了 have+過去分詞

「会議」

(2)の問題は次の表現を使っています。

not only A but (also) B 「A だけでなく B もまた」  
※主語になるときは動詞は B に合わせる。  
※also は省略されることもある。

He was not only happy but also satisfied.

(彼はうれしかっただけでなく、満足でもあった。)

(2)では、「彼らだけでなくトムも」となっていますので、**Not only they but also Tom** の語順にしましょう。

**not only A but (also) B** と同様の表現として、次のようなものもあります。あわせて覚えておきましょう。

**B as well as A** 「A だけでなく B も、A と同様に B も」  
※主語になるときは動詞は B に合わせる。

She gave me food as well as clothes.

(彼女は私に服だけでなく食べ物もくれた。)

## Note

(3) 彼女ではなく彼女の母が私にこの本をくれた。

Not her but her mother / gave me this book.

↑  
not A but B  
「A ではなく B」

↑  
「私にこの本をくれた」  
give A B  
「A に B を与える」

(3)の問題は次の表現を使っています。

**not A but B** 「A ではなく B」

※主語になるときは動詞は B に合わせる。

Not I but you are to read a paper.

(私ではなくあなたが論文を読むことになっている。)

(3)では「彼女ではなく彼女の母が…」となっていますので、〈not A but B〉の表現を使って、Not her but her mother の語順を作ってください。

## Note

(4) 私は彼女を知らないし知りたいたとも思わない。

I don't know her, ~~nor~~ do I want to.



not A, nor B  
「A でないし、B でもない」

(4)の問題は次の表現を使っています。

not ~ , nor … 「～ではないし、また…でもない」  
※not の後には(助)動詞+主語の倒置になる。

Mike didn't smoked, nor did he drink.

(マイクはタバコを吸わなかったし、酒も飲まなかった。)

この表現では、not の後に節(主語+動詞)が続く場合は、(助)動詞+主語の語順、つまり倒置(疑問文の語順)にすることに注意が必要です。

(3)では「…知りたいたとも思わない」ですので、nor の後を疑問文の語順にして do I want to を続けることとなります。

ここで出てきた **not only A but (also) B** のような、いくつかの語句が関連して 1 つの接続詞の働きをするものを「相関接続詞」いますが、中学で習うものも含めてまとめると次のようになります。

	意 味	主語の時の動詞
<b>not only A but (also) B</b>	A だけでなく B もまた	B に合わせる
<b>B as well as A</b>	A だけでなく B も	B に合わせる
<b>both A and B</b>	A も B も	複数扱い
<b>either A or B</b>	A か B のどちらか	B に合わせる
<b>neither A nor B</b>	A も B も～でない	B に合わせる

こうした相関接続詞が主語になった場合の動詞の形は、次のように考えると理解しやすいでしょう。

- ① 意味に重点がある方に合わせる。
- ② どちらも含める場合は複数扱い。
- ③ どちらか 1 つなら、動詞に近い方に合わせる。
- ④ どちらも含まないなら、動詞に近い方に合わせる。

## 2.

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

- (1) あなたが今フランス語を学ぶというのは、  
いい考えだ。

( that / is / now / . / good / French / it / you /  
idea / a / study )

- (2) 彼女が生きているのは確かだ。

( alive / . / she / that / certain / is / is )

- (3) 問題は彼女が病気で寝ていたということだ。

( is / sick / she / bed / the / . / in / was /  
trouble / that )

- (4) テニスが好きかどうか彼女は私にたずねた。

( me / liked / I / she / . / tennis / asked / if )

- (5) 問題は彼が私を支えてくれるかどうかだ。

( question / whether / . / support / the / is / he /  
me / will / )

[解答]

- (1) It is a good idea that you study French now.
- (2) That she is alive is certain.
- (3) The trouble is that she was sick in bed.
- (4) She asked me if I liked tennis.
- (5) The question is whether he will support me.

## Note

### 2. 名詞節を導く従位接続詞

- (1) あなたが今フランス語を学ぶというのは、  
いい考えだ。

It is a good idea **that** 「you study French now」

仮主語  
that 以下の内容を  
指している。

接続詞  
「～ということ」

接続詞には「等位接続詞」と「従位接続詞」があることは中学で学習しますが、その従位接続詞にはさらに「名詞節(名詞と同じような働きをする主語と動詞の組合せ)を導くもの」と、「副詞節(副詞と同じような働きをする主語と動詞の組合せ)を導くもの」があります。



接続詞	{ 等位接続詞…and, but, or など 従位接続詞	{ 名詞節を導くもの…that, if, whether 副詞節を導くもの…when, while, if など

ここでは従位接続詞で名詞節を導くものを説明していきましょう。  
 まず、接続詞の **that** は名詞節を導き「～ということ」になるのは中学で学習しましたが、さらにその働きをまとめると次のようになります。

[接続詞 **that** の働き]

- ① 主語となる名詞節を導く。仮主語 **it** を用いることが多い。
- ② 補語となる名詞節を導く。
- ③ 目的語となる名詞節を導く。
- ④ 同格となる名詞節を導く。
- ⑤ 前置詞の目的語になる名詞節を導く。

in that ～、except that ～のみ。

- ③ I know that she is kind. (彼女が親切なのを私は知っている。)
- ④ You should remember the fact that you are my daughter.  
 (あなたは私の娘がという事実は覚えておいた方がいい。)
- ⑤ I don't agree to his plan in that it is expensive.  
 (彼の計画は費用がかかるという点で私は賛成しない。)  
 I agree to his plan except that it is expensive.  
 (費用がかかるという点を除いて、私は彼の計画に賛成だ。)

③「目的語となる名詞節を導く」**that** は中学で習ったものです。

④の「同格となる名詞節を導く」**that** は、後の「15.特殊構文」のところで詳しく述べます。

⑤の「前置詞の目的語になる名詞節を導く」**that** は、in that ～「～という点において」と except that ～「～という点を除いて」の2つの表現だけに限られます。

(1)の問題では「あなたがフランス語を学ぶというのは…」が主語ですが、

①の働きを使ってこれを接続詞 **that** で導いて、ただしこれを主語にすると主語が長くなりあまり形としては格好よくないので、仮主語の **It** を置いて文を作ることになります。

## Note

(2) 彼女が生きているのは確かだ。

**That** 「she is alive」 **is** certain.

↑ 接続詞「～ということ」      ↑ 「確かな」

(2)の問題では、「彼女が生きているのは…」が主語ですので、これを接続詞 **that** で導く形を作ります。**she is alive** を **that** がくくりまとめています。

## Note

(3) 問題は彼女が病気で寝ていたということだ。

The trouble **is** **that** 「she was sick in bed」.

↑ 「問題」      ↑ 接続詞「～ということ」

(3)の問題は、②の接続詞 **that** が補語となる節を導く形の文です。「…彼女が病気で寝ていたということ…」となっていますので、**that** で導いて、**that she was sick in bed** としましょう。

## Note

(4) テニスが好きかどうか彼女は私にたずねた。

She asked me if 「I liked tennis.」

ask A if ~  
「~かどうか A  
にたずねる」

接続詞「~かどうか」  
※whether と交換可能。

次に、that と同じく従位接続詞で名詞節を導く if と whether ですが、どちらも「~かどうか」という意味なのですが、その用法には主に次のような違いがあります。

- ① 文頭に主語として **whether** は置けるが、**if** を置くことはできない。仮主語 **it** を用いれば、どちらも使える。
- ② **wheter** は補語になる名詞節を導くことができるが、**if** を使うことはできない。
- ③ 動詞の目的語になる名詞節を導く場合、**whether** と **if** はどちらも使うことができる。

- ① **Whether** the report is true is uncertain. [正]  
**If** the report is true is uncertain. [誤]  
(そのレポートが正しいかどうかはわかenらないう。)  
**It** is uncertain **whether** the report is true. [正]  
**It** is uncertain **if** the report is true. [正]
- ② The problem is **whether** she will be able to come here. [正]  
The problem is **if** she will be able to come here. [誤]  
(問題は彼女がここに来ることができるかどうかだ。)
- ③ I asked her **whether** she could write to me soon. [正]  
I asked her **if** she could write to me soon. [正]  
(すぐに私に手紙が書けるかどうか私は彼女にたずねた。)

その他の詳細も含めると下表のようになります。

用 法	whether	if
①主語として使う	○	×(※)
②補語として使う	○	×
③動詞の目的語として使う	○	○
④前置詞の後に続ける	○	×
⑤名詞と同格の節として使う	○	×
⑥直後に <b>or not</b> を続ける	○	×
⑦直後に <b>to</b> 不定詞を続ける	○	×

※①主語の if は仮主語 it を置くなら可能。

(4)の問題では「…かどうか…私にたずねた」となっていますので、asked me if の語順を作りましょう。この場合、whether を if の代わりに使うことも可能です。

## Note

(5) 問題は彼が私を支えてくれるかどうかだ。

The question is whether he will support me.

接続詞「～かどうか」  
※if とは交換不可。

「～を支える」

(5)の問題では、「…かどうかだ」の部分は補語になりますので、whether を使って名詞節を作ります。この場合、if は使えません。

また、時や条件を表す副詞節では未来の内容でも現在形を使いましたが、名詞節では未来の内容では will や be going to などを使います。(5)の英文では whether 以下は名詞節なので、will を使っています。

### 3.

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

- (1) まさに彼が出ようとしたら、そのときドアをノックする音がした。

( was / , / was / knock / to / when / he / leave / there / door / . / the / about / a / on )

- (2) いったん始めたら、続けなければなりません。

( begin / continue / you / . / you / , / once / must )

- (3) 私を見るとすぐに彼女は逃げ出した。

( away / moment / me / ran / the / saw / she / . / she )

- (4) 彼は私を見るとすぐに泣き始めた。

( hardly / he / began / had / me / he / . / to / cry / when / seen )

[解答]

- (1) He was about to leave,  
when there was a knock on the door.
- (2) Once you begin, you must continue.
- (3) She ran away the moment she saw me.
- (4) He had hardly seen me when he began to cry.

## Note

### 3. 副詞節を導く従位接続詞

- (1) まさに彼が出ようとしたら、そのときドアを  
ノックする音がした。

He was about to leave,

↑  
be about to ~ 「まさに~しようとする」

when there was a knock on the door.

↑  
接続詞

「~(そして)そのとき」

↑  
「~があった」

従位接続詞の **when** は中学で出てきて「~するとき…」という意味で習いましたが、それとは別に次のような用法もあります。

～ when … 「～したら、その時に…」

(1)の問題では「…出ようとしたら、そのとき…」となっていますので、**was about to leave, when** としましょう。

## Note

(2) いったん始めたら、続けなければなりません。

Once you begin, you must continue.

接続詞

「いったん～したら」

「続ける」

上の(2)の問題は、次の従位接続詞を使って英文を作ってください。

once ～, … 「いったん～すると…」

## Note

(3) 私を見るとすぐに彼女は逃げ出した。

She ran away the moment she saw me.

run away

「逃げる」

接続詞

「～するとすぐに」

(3)の問題は、次の接続詞の表現を使って英文を作りましょう。momentは「瞬間」という意味の名詞ですが、この形で接続詞として働きます。

the moment (that) ~ 「～するとすぐに…」

## Note

(4) 彼は私を見るとすぐに走り去った。

He /had hardly seen /me /when he ran away.

hardly ~ when ...  
「～するとすぐに…」

run away  
「走り去る」

(4)の問題も「～するとすぐに…」の意味になる次の表現を使っています。

hardly[scarcely] ~ when[before] ... 「～するとすぐに…」

こうした〔時〕に関する従位接続詞には、他に次のようなものがあります。

the instant ~	「～するとすぐに…」
no sooner ~ than ...	「～するとすぐに…」
every[each] time ~	「～するたびに…」
the first time ~	「初めて～するとき…」
the last time ~	「この前に～したとき…」
next time ~	「次に～するとき…」



次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(5) 彼は行ってしまったので、私はもはや彼に  
会うことはできない。

( has / I / that / , / longer / gone / now / see /  
no / he / . / him / can )

(6) 彼女は始発電車に乗れるように早く起きた。

( first / early / that / got / . / might / up /  
catch / she / train / so / the / she )

(7) とても暑い日だったので私は外出しなかった。

( go / was / hot / . / didn't / it / a / so / I / day /  
that / out )

[解答]

(5) Now that he has gone,

I can no longer see him.

(6) She got up early so that she might catch

the first train.

(7) It was so hot a day that I didn't go out.

## Note

(5) 彼は行ってしまったので、私はもはや彼に  
会うことはできない。

Now that he has gone,

↑  
now that ~, ...  
「(今や)~なので、...」

↑  
現在完了 have gone 「行ってしまった」

I can no longer see him.

↑  
「もはや~ない」

(5)の問題では、次の従位接続詞を使って英文を作りましょう。

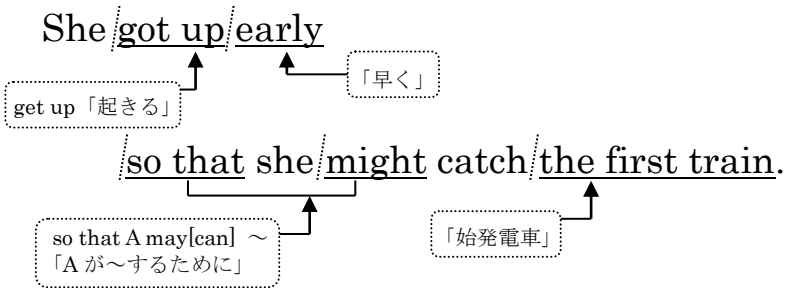
now that ~ 「今や~だから、~なので」

このような〔原因・理由〕を表す従位接続詞は他に次のようなものがあります。(Sは主語を表しています。)

seeing that ~ 「～であるからには、～であることからして」  
doing as S does 「Sが～しているので」  
done as S is 「Sが～されているので」

## Note

(6) 彼女は始発電車に乗れるように早く起きた。



(6)の問題では、次の従位接続詞を使って英文を作りましょう。

so that ~ 「～するために、～するように」

こうした〔目的〕を表す他の従位接続詞には次のようなものがあります。

in case ~      「する場合に備えて、～するといけないから、  
万一～したら、もし～ならば」  
for fear that ~ 「～することを恐れて、～しないように」  
lest ~      「～しないように」

## Note

(7) とても暑い日だったので私は外出しなかった。

It/was/so hot a day/that I didn't go out.

so+形容詞[副詞]+冠詞+名詞+that …  
「とても～な(名詞)なので…」

「外出する」

so ~ that …「とても～なので…」は中学で学習しますが、so の後に a hot day などの〈冠詞+形容詞[副詞]+名詞〉を置くときは注意が必要です。この場合、so のすぐ後に形容詞や副詞を置いて so hot a day の語順になるようにします。気をつけてください。

so+形容詞[副詞]+冠詞+名詞+that …  
「とても～な(名詞)なので…」

こうした〔結果・程度〕を表す同じようなものに次の表現があります。

such ~ that … 「とても～なので…」

ただし、この表現では such の後は〈冠詞+形容詞[副詞]+名詞〉の通常の語順になります。(7)の英文をこの表現に変えると次のようになります。

It was such a hot day that I didn't go out.

なお、名詞が複数のときは〈so ~ that …〉は使えません。〈such ~ that …〉だけが可能です。

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(8) 雪が降らない限り、私は出発するつもりです。

( I / , / it / start / . / will / snows / unless )

(9) あなたが行ってもいかなくても、結果は同じでしょう。

( you / , / the / not / or / will / whether / go /  
the / result / same / be )

(10) その仕事はつらかったけれども、彼はそれを楽しんだ。

( was / the / he / , / it / work / while / hard /  
enjoyed / . )

(11) 私が知る限り、彼女は正直です。

( know / far / . / I / as / is / , / honest / she / as )

(12) 好きなように君はそれをする事ができる。

( it / like / can / . / you / you / do / as )

[解答]

(8) Unless it snows, I will start.

(9) Whether you go or not,

the result will be the same.

(10) While the work was hard, he enjoyed it.

(11) As far as I know, she is honest.

(12) You can do it as you like.

## Note

(8) 雪が降らない限り、私は出発するつもりです。

Unless it snows, I will start.

↑  
接続詞「～ない限り」

(8)の問題は次の従位接続詞を使って英文を作りましょう。

**unless** ～ 「～でない限り、～の場合を除いて、  
もし～ないなら」

**unless** は主節の内容を否定する唯一の条件を示しますので、他にも条件があつて唯一の条件ではない場合は **unless** は使えません。次の例文では

驚くことは他にもいくらでもあるので、**unless** を使うのは誤りです。

I'll be surprised unless she comes to the meeting. [誤]

(もし彼女が会議に来ないなら私は驚くでしょう。)

I'll be surprised if she doesn't come to the meeting. [正]

その他に〔条件〕を表す従位接続詞は次のようなものがあります。

suppose that ~ / supposing that ~ 「~としたら」

provide that ~ / providing that ~ 「~としたら、~の条件で」

granted that ~ 「仮に~としても、~は認めるとしても」

## Note

(9) あなたが行ってもいかなくても、結果は同じ  
でしょう。

Whether you go or not,

whether ~ or not  
「~してもしなくても」

/the result/will be/the same.

「結果」

「同じこと」

(9)の問題は、次の表現を使って英文を組み立ててください。

whether ~ or not 「~であろうとなかろうと」

[whether or not ~]

次のような同様の表現もあります。

whether A or B 「A であろうと B であろうと」

Whether we win or lose, we will celebrate.

(勝っても負けても私たちはお祝いをするでしょう。)

その他に「～だけれども」などの譲歩の意味を表す表現に、次のようなものがあります。

even if ～ 「たとえ～としても」

even though ～ 「たとえ～としても」

ただし、even if は仮定の if を強めたもので「仮に～だとしても」の感じ、つまり、事実かどうか不確実な内容を述べることが多く、一方、even though は、元々「譲歩」を表す接続詞 though(～だけれども)を even が強めたもので、この場合、事実であることが確定している内容を述べることが多いとされています。

Even if you are my friend, I refuse to help you.

(たとえ(仮に)君が私の友人であるとしても、私は協力できない。)

Even though you are my friend, I refuse to help you.

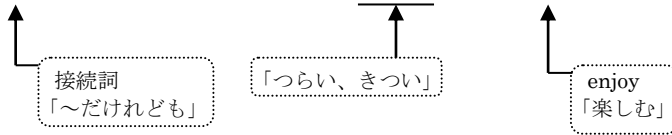
(君は私の友人である(ことは事実だ)けれども、私は協力できない。)



## Note

(10) その仕事はつらかったけれども、彼はそれを  
楽しんだ。

While the work was hard, he enjoyed it.



中学で出てきた接続詞 **while** は「～間に」の意味でしたが、譲歩などで次のような意味にもなります。主節の前に置くか後に置くかで意味が少し違いますので、注意してください。

- while** ～
- ① [主節の前で] 「～だけれども」
  - ② [主節の後で] 「…だが一方～」

- ① While I like the shape of the car, I don't like its color.  
(車の形は気に入っているけれども、色が好きではない。)
- ② She has read thirty pages, while he has read only five.  
(彼女は 30 ページ読んでいる、が一方、彼はたった 5 ページだ。)

(10)の問題では「その仕事はつらかったけれども…」なので、主節の前に **While the work was hard** を置いて英文を作りましょう。

## Note

(11) 私が知る限り、彼女は正直です。

As far as I know, she is honest.

接続詞

「～する限り(では)」

「正直な」

従位接続詞で「制限」を表すものに次のようなものがあります。

- ① as[so] far as ～ 「～する限り」
- ② as[so] long as ～ 「～する限り、～する間は」

①の as[so] far as ～ は far (遠い、遠く)を使っているように、「距離や程度の限度」について「～する限り」です。②の as[so] long as ～ は long (長い)を使っているように「時間の制限や条件」について「～する限り、～する間は」になります。場合によっては、どちらを使ってもよい場合があります。

- ① As far as I can remember, I have never seen it.  
(覚えている限り、私はそれを見たことはない。)
- ② I will never forget it as long as I live.  
(生きている限り、私はそれを決して忘れないだろう。)

## Note

(12) 好きなように君はそれをする事ができる。

You can do it as you like.

接続詞  
「~のように」

従位接続詞で「様態」を表すものには次のようなものがあります。

as ~ 「~のように」  
like ~ 「~のように」

Give up smoking as your doctor advised.

(医者が忠告したように、喫煙をやめなさい。)

She wears makeup like other girls do.

(他の女の子がするように、彼女は化粧をする。)

ただし、接続詞のこの like はアメリカ英語のくだけた言い方で、話し言葉では使いますが書き言葉では as を用いるのがふつうです。

(12)の問題では「好きなように…」となっていますので、as you like の語順にしましょう。



